

1 企業の採用活動

2021年卒採用における、企業の採用計画に対する充足状況や内定出し人数は？

採用数充足企業は56.0%。 半数を上回る

Part2からは、コロナ禍での実施となった2021年卒の採用・就職活動について紹介する。企業における2020年12月時点での21年卒の採用数は、「計画通り」が38.9%。「計画より若干多い」(14.6%)、「計画よりかなり多い」(2.4%)を合わせた採用数充足企業の割合は56.0%と半数を上回り、前年(45.7%)から10.3ポイント増加した(グラフ①)。また、「計画より若干少ない」(30.8%)、「計画よりかなり少ない」(10.1%)、「現在選考中につき、未定」(2.5%)を合わせた採用数未充足企業の割合は43.4%だった。

従業員規模別に見ると(表③)、「1000～4999人」「5000人以上」企業では充足企業の割合が6割を超え、そのほかすべての規模で5割を超えた。また、地域別に見ると、「北海道・東北」「中国・四国」「九州」を合わせた「その他地域」における充足率が54.5%で、20年卒の40.2%から大幅に増加した。

また、コロナ禍で導入が進んだWeb面接の実施有無別に見ると、実施企業においては充足企業が60.0%、非実施企業においては46.8%で差が見られた。

採用数が「計画より若干多い」「計画よりかなり多い」と回答した企業にその理由を聞いたところ、最も多かったのは、「内定辞退が予定より少なかった」で45.8%

(グラフ②)。前年と比較すると、「選考応募者が予定より多かった」(32.4%)が13.5ポイント増加している。

一方、採用数が「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」と回答した企業において、理由として最も多かったのは、「内定辞退が予定より多かった」で36.1%(複数回答)。前年と比較すると、「事業方針等が変更になり、採用人数を減らした」(24.4%)が18.9ポイント増加しており、コロナ禍で当初の計画数から下方修正した様子がうかがえる。

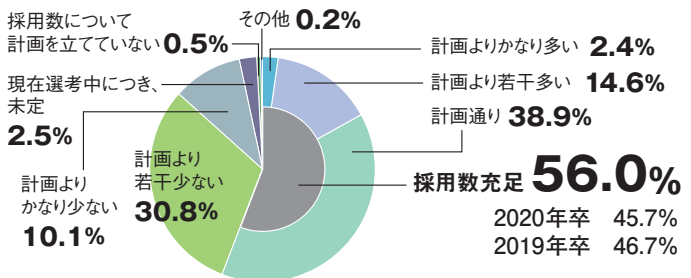
採用予定数を100とした場合の内定人数も前年から増加

採用計画に対する充足状況を、別の

企業

採用目標数を充足できた企業が半数を超えた

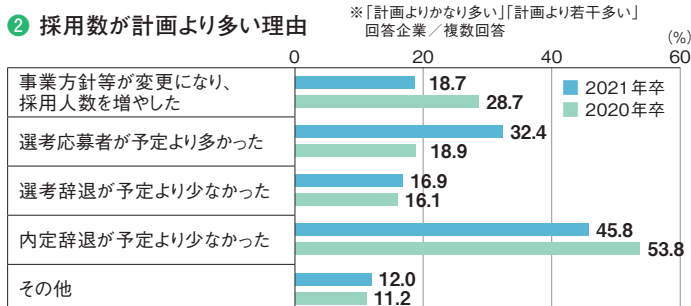
① 採用計画に対する充足状況 ※2021年卒採用実施企業／単一回答



「計画通り」「若干多い」「かなり多い」を合わせた採用数充足企業は56.0%。「若干少ない」「かなり少ない」「現在選考中につき、未定」を合わせた未充足企業は43.4%。

企業

採用数が計画よりも多い理由として「応募者が予定より多かった」が増加



「選考応募者が予定より多かった」が32.4%で前年より13.5ポイント増加。特に「5000人以上」企業においては50.0%と他規模に比べて高かった。

企業

従業員規模1000人以上の企業で充足企業が6割を超える

③ 2021年卒の12月時点での採用数充足状況

※2021年卒採用実施企業／単一回答
※「計画通り」「計画より若干多い」「計画よりかなり多い」の合計を「充足」、「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」「現在選考中につき、未定」の合計を「未充足」とする

	充足	未充足
全体	56.0%	43.4%

従業員規模別	充足	未充足
300人未満	54.2%	44.0%
300～999人	53.1%	46.7%
1000～4999人	60.7%	39.3%
5000人以上	62.5%	37.5%

地域別	充足	未充足
北海道・東北	47.6%	50.0%
関東	57.9%	41.5%
中部・東海	51.9%	47.3%
関西	57.9%	41.7%
中国・四国	59.8%	40.2%
九州	56.8%	43.2%

Web面接実施別	充足	未充足
実施	60.0%	39.8%
非実施	46.8%	51.5%

従業員規模別に見ると、すべての規模で充足企業が半数を上回り、中でも1000人以上規模では6割を超えた。地域別に見ると、「北海道・東北」は充足企業が半数を下回ったが、6地域全てにおいて前年よりも充足企業の割合が高く、充足状況の改善がうかがえる。



視点から見てみる。企業に採用予定数や内定出し人数などを聞き、「採用予定数を100」とした場合の「内定出し人数」「内定辞退人数」「内定人数」を算出したところ(グラフ④)、「内定出し人数」は156.6で、20年卒の175.0から減少し、「内定辞退人数」も56.6と20年卒の83.1から減少した。

一方、「内定人数」は96.8と20年卒の89.5から増加して100に近づき、20年卒に比べて採用計画に対して充足している様子が見受けられる。

従業員規模別に見ると(表⑤)、サンプル数が少ないため参考値だが、「5000人以上」企業で内定人数が103.8と100を超えた。

オンライン社長面談で学生を動機づけ。 選考離脱抑制、内定承諾率改善につながった



アイジー工業株式会社
嶋貫 孝氏

最終面接を延期することで生じる 学生の不安を、社長面談で払拭

3月以降の説明会はほとんどをオンラインで実施。ただ、選考はできるだけ対面で行いたかったため、遠方の学生のみ一部の面接をオンラインで行い、4月に予定していた役員との最終面接は緊急事態宣言が解除されるまで延期に。延期によって生じ得る学生の志望度低下や選考離脱、「業績悪化で採用しないのでは？」といった懸念を払拭するため、当初の最終面接予定日に、学生と社長とで個別に15分ずつ、オンライン面談を行いました。

社長からは、問題なく事業を継続している採用も予定通り行うことや、直接会える

のを楽しみに待っていることを伝達。結果、5・6月の最終面接には面談参加者6名全員が参加。最終的には内々定者7名中5名が承諾し、承諾率71%と20年卒の40%から大きく改善、採用目標数も達成しました。また、近年期待通りに採用できていなかった理系学生も3名採用できました。

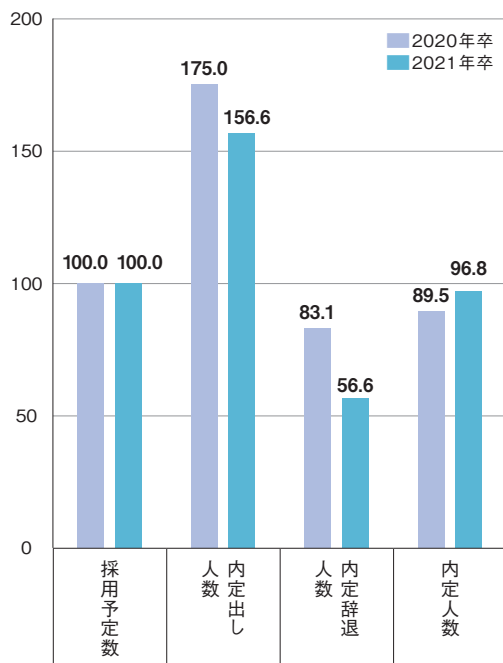
以前より商談用にWeb会議ツールを導入していましたが、採用での活用ノウハウは手探りで蓄積。説明会は2人で会話しながら進めれば社員間の雰囲気や垣間見てもらえるなど、得られた知見を22年卒採用にも活かしていく予定です。

企業

採用予定数を100としたときの内定人数が100に近づく

④ 「採用予定数を100」とした場合の 「内定出し人数」「内定辞退人数」「内定人数」(全体)

※2021年卒の採用予定数、面接人数、内定出し人数、内定辞退人数、
内定人数の全回答企業／実数回答



採用予定数を100としたときの内定人数は96.8となり、100に近づいた。また、それぞれの数値から、採用予定数の約1.57倍の学生に内定を出し、そのうちおよそ3.5割が辞退したという計算になる。

⑤ 「採用予定数を100」とした場合の 「内定出し人数」「内定辞退人数」「内定人数」(従業員規模・地域別)

※2021年卒の採用予定数、面接人数、内定出し人数、内定辞退人数、内定人数の全回答企業／実数回答

	内定出し 人数	内定辞退 人数	内定人数
全体	156.6	56.6	96.8
従業員規模別			
300人未満	151.7	51.0	98.2
300～999人	150.9	56.8	92.9
1000～4999人	153.9	52.6	96.8
5000人以上	179.3	71.9	103.8
地域別			
北海道・東北	140.5	58.9	82.6
関東	161.0	55.4	102.1
中部・東海	151.5	59.0	91.3
関西	163.6	59.7	98.3
中国・四国	150.0	55.9	90.6
九州	142.4	51.6	87.9

地域別に見ると、採用予定数を100とした場合の内定人数が高いのは、「関東」(102.1)、「関西」(98.3)など。一方、「北海道・東北」においては、内定出し人数に対する内定辞退人数が4割超と他地域よりも高く、採用予定数を100とした場合の内定人数は82.6と最も低かった。